

Aiming at a higher qualification as a university teacher ● of English

大学での英語教育を志す大学院生の皆さん、東京大学駒場キャンパスで、大学英語教育のための新しいトレーニングプログラム「英語教育プログラム」が始まります。

東京大学英語教育プログラム

問い合わせ先
東京大学 英語教育プログラム委員会
齋藤 兆史
fairy@eigo.c.u-tokyo.ac.jp

東京大学英語教育プログラム

英語教育プログラムとは

英語を武器に研究をおこなっている大学院生が、大学の教育・研究職に就こうとする際、大学レベルの英語教育に関する知識・能力を要求されることが多くなっています。本プログラムは、大学院修了後、大学での英語教育に携わってゆくことを志す大学院生を対象に、専攻・専門に関わらず、副専攻的に英語教育の訓練を施すことを目的としています。本プログラムを修了した大学院生には、東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻より修了資格証明書が授与されます。

[対象]

東京大学大学院博士課程に在籍する大学院生

[本プログラムの修了要件]

博士課程修了に求められる必修20単位のほかに、以下の科目を履修し、計12単位を取得した上で、修了論文を提出する。

- I 英語教育講義科目(4単位)
英語教育に必要とされる、英語教授法と第二言語習得に関する専門的な知識を学ぶための科目。
 - (1)英語教授法特別講義(2単位)
 - (2)第二言語習得論特別講義(2単位)
- II 英語教育演習科目(8単位)
大学英語教育に求められる高度な英語力を身につけるための科目。
 - (3)英語講読論演習(2単位)
 - (4)英語ライティング論演習(2単位)
 - (5)英語コミュニケーション論演習(2単位)
 - (6)TA演習(2単位:2学期間のTA実習)
- III 英語教育に関する英文による修了論文(6000~8000語程度)

*修了論文は、東京大学教養学部英語部会が発行する英語教育雑誌 *Journal of English Education in Komaba* に掲載されます。

プログラムの運営母体

英語教育プログラム委員会

斎藤 兆史..... 言語情報科学専攻
丹治 愛..... 言語情報科学専攻
菅原 克也..... 超域文化科学専攻
内野 儀..... 超域文化科学専攻
遠藤 泰生..... 地域文化研究専攻
アルヴィ宮本 なほ子..... 地域文化研究専攻

*本プログラムは、東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻を母体として、超域文化科学専攻、地域文化研究専攻、東京大学教養学部英語部会、および英語部会ライティングプログラムALESS (Active Learning of English for Science Students) との緊密な連携のもとに実施されます。

*以上の構成は平成20年3月現在のものです。

[定員]

7名

[応募要件]

TOEFL (PBT) 600点以上、TOEFL (CBT) 250点以上、TOEFL (iBT) 100点以上、TOEIC 900点以上、IELTS 7.5点以上、実用英語検定試験(英検) 1級程度の英語力を有していることが望ましい。

[募集と選考]

毎年4月初旬にプログラム登録の募集と選考を行いません。選考に当たっては、応募の動機を800字程度で記した願書と英語力を証明する資料(英語力認定試験の証明書等)を提出していただき、専攻、志望動機、英語力などを総合的に評価して可否を決定します。

*平成20年度については、4月10日(木)までに願書(駒場Iキャンパス18号館3階言語情報科学専攻事務室もしくは18号館8階英語部会主任室にあります)と英語力を証明する資料を言語情報科学専攻事務室に提出してください。